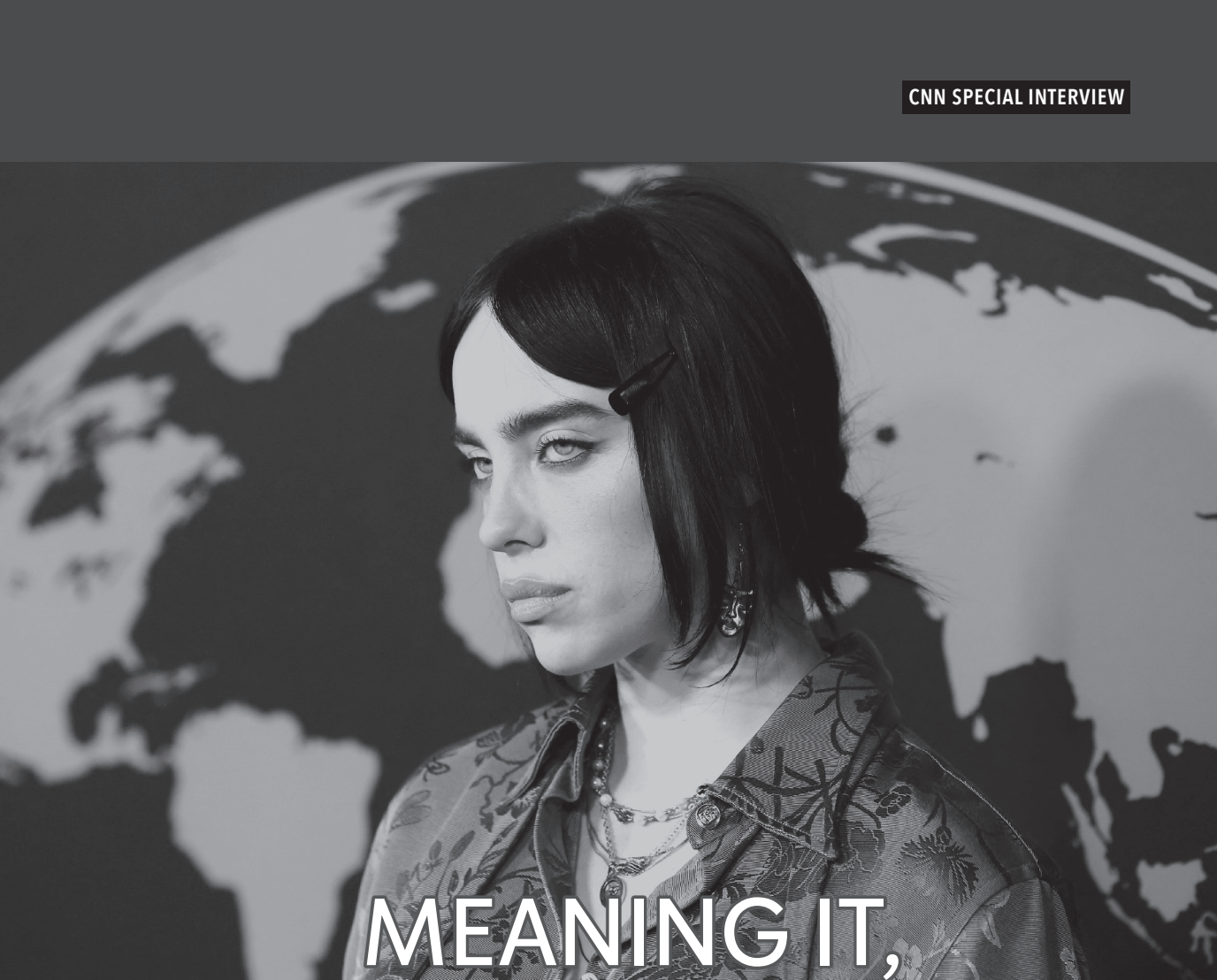




MEANING IT, DOING IT

シンガー・ソングライター

ビリー・アイリッシュ

「本気で世界のことを気にかけている」

世界の音楽シーンを席巻するビリー・アイリッシュ。彼女は自身の音楽活動に加え、自然保護活動に関して力強いメッセージを発することでも知られている。その背景には、俳優としても活動し、環境保護に力を入れる母親マギー・ペアードの影響があるという。今回、CNNがその2人にインタビューを行い、環境問題に対する2人の考えを聞いた。



インタビュー

ビル・ウィアー

CNN 特派員。ABC ニュースで10年にわたりジャーナリストを務めた後、2013年にCNNに入局。2020年には、気候変動をテーマにした番組『The Road to Change』でのリポートは、気候ジャーナリズムの最高傑作のひとつと評されており、2022年にはCNNスペシャルリポート『Eating Planet Earth: The Future of Your Food』で、ニュース&ドキュメンタリー・エミー賞を受賞している。



ゲスト

ビリー・アイリッシュ

2001年12月18日、米ロサンゼルス生まれのシンガーソングライター。兄フィニアスと制作した楽曲『Ocean Eyes』で注目を集め、ファーストアルバム『WHEN WE ALL FALL ASLEEP, WHERE DO WE GO?』が世界的に大ヒットした。グラミー賞の主要4部門を史上最年少で制するなど、数々の記録を打ち立て、唯一無二の存在感を放っている。



Listening Quiz

56 価値観を一変させたビリーの登場

Billie Eilish—a decade ago, she was just a 13-year-old making music with her brother in her room. But after Billie and Finneas uploaded “Ocean Eyes” to SoundCloud for all the world to hear, they were launched into the stratosphere of stadium tours, soundtracks, Grammy wins, Oscar shows. It’s the kind of sudden success that can change a person’s values, but Billie Eilish immediately set out to bend the industry around her values—haters and big oil companies be damned.

Billie Eilish I have been trying to change the way that the industry has been running for a really long time. For, like, food backstage, all of my catering is vegan. We have, like, refillable water stations; we don’t sell, like, plastic water bottles. And I have, like, a no-idling policy for all the trucks.

As someone who attended the first Lollapaloozas and Coachellas* and Bonnaros*, I can testify that the influence of Billie and others like her is catching on. You can now get a concert T-shirt in exchange for filling a plastic bag with recyclables. We’ve reached a point where it is cool to refill your own water bottle.*

Eilish [At] Lollapalooza, I did [the] first fully battery-powered* show, which is amazing, and it just proves that, like, you can do that. It’s not impossible.

launch A into B:

AをBに一躍送り出す

stratosphere:

《比喩的に》(ある分野などの) 最高位、最高レベル

values:

価値観

set out to do:

～し始める、～することに乗り出す

bend:

～を屈服させる、従わせる

hater:

アンチ、ヘイター

...be damned:

…はどうでもいい、クソくらえだ

run:

操業する、運営される

backstage:

楽屋にある、バックステージの

catering:

ケータリング

vegan:

ビーガンの、完全菜食の

refillable:

(マイボトルに水などを) 補充できる

water station:

給水スポット

no-idling:

アイドリングストップの

testify that:

～ということを証言する

catch on:

広まる、流行する、普及する

in exchange for:

～と交換で、引き換えに

recyclable:

リサイクル可能なもの

reach a point where:

～という段階まで来る

cool:

クールな、カッコいい

prove that:

～ということを証明する、示す



ゲスト

マギー・ベアード

ビリー・アイリッシュを娘に持つ米俳優・脚本家。アメリカのテレビドラマや映画に多数出演しており、代表作には「エバーウッド 遥かなるコロラド」「BONES」などがある。またロサンゼルスを拠点に、音楽や演技の教師として活動している。

ビリー・アイリッシュさん——10年前、彼女は、兄（のフィニアス）と一緒に自分の部屋で曲を作っていた普通の13歳に過ぎませんでした。ところが、ビリーとフィニアスが（音声ファイル共有サービスの）「サウンドクラウド」に「オーシャン・アイズ」をアップロードして全世界が聴けるようになると、2人はスタジアム・ツアーやサウンドトラック、グラミー賞の受賞、アカデミー賞のステージといった音楽界の最高層へと一気にのし上がることになったのです。このような突然の成功は人の価値観を一変させかねませんが、ビリー・アイリッシュはすぐさま業界のほうを自分の価値観に合わせて矯めるために動き始めました——アンチや大手石油会社などクソくらえと言わんばかりに。

ビリー・アイリッシュ 私は本当に長い間変えようとしてきたんです、これまでこの業界がやり続けてきたことを。例えば、バックステージの食べ物だったら、ケータリングは全てビーガン。水を補充できる給水スポットを設置して、ペットボトルの水は売らない。あと、トラックは全部アイドリリングストップの方針に従ってもらっています。

初期のロラパルーザやコーチェラ、ボナルー（などのロックフェス）に行った者として証言できるのは、ビリーのようなアーティストの影響力が広まりつつあるということです。今はリサイクル可能なものを（会場で拾って）ビニール袋に詰めて持っていくとツアーTシャツと交換してもらえる場合もあります。マイボトルに水を補充するのがかっこいいという段階まで来ているのです。

アイリッシュ ロラパルーザでは、全電力をバッテリーシステムで供給する初のステージをやったんですよ。これは素晴らしいことで、こういうことができるとまさに証明してるんです。不可能じゃない。



2022年6月、ワールドツアー「Happier Than Ever」にてシンガー・ソングライターかつ音楽プロデューサーとして活動する兄フィニアス・オコネルと共演したビリー・アイリッシュ

■ Lollapalooza

ロラパルーザ ▶シカゴをはじめとして世界各地で毎年開催される野外音楽フェスティバル・ブランド。

■ Coachella

コーチェラ ▶正式名称コーチェラ・バレー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル。カリフォルニア州インディオの砂漠で毎年開催される野外音楽フェスティバル。

■ Bonnaroo

ボナルー ▶正式名称ボナルー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル。テネシー州で毎年開催される野外音楽フェスティバル。

■ battery-powered

バッテリーシステムによる電力供給の ▶音楽イベントではディーゼル発電機による電力供給が一般的だが、ビリー・アイリッシュはイベント会場に仮設太陽光発電装置を設置してステージ用電力をまかなう試みを実施している。